

平成17年度 第2回金沢市入札制度評価委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成18年2月22日(水) 金沢市役所 202会議室	
委員 (委員数3名) (出席数3名)	委員長 鴨野 幸雄(金沢大学名誉教授) 委員 春成 保(公認会計士) 委員 川村 國夫(金沢工業大学教授)	
次第	1 開会 2 工事に係る入札・契約の手続きの運用状況等 ① 平成17年度の発注工事について ② 発注工事に係る平均落札率について ③ 工事成績評点について ④ 入札参加資格停止等の運用状況について 3 平成17年度の入札制度評価委員会の意見と本市の措置状況 ① 優良工事への動機づけについて ② 民間の技術力の利活用について ③ 職員の技術力向上について 4 諸報告 5 報告に係る審議 6 抽出案件に係る審議 7 閉会	
審査対象期間	平成17年10月1日～平成18年1月31日	
抽出案件	9件	
制約付き一般競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度七ッ屋ポンプ場沈砂池機械設備改築工事</li> <li>平成17年度城北水質管理センター中央監視装置改築工事</li> </ul>
公募型指名競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>金沢市立第2田上小学校(仮称)校舎新築工事(給排水衛生設備工事)</li> <li>野田区画整理事業野田大桑線築造工事(促-2工区)並びに大桑第三区画整理事業野田大桑線築造工事(促-5工区)ほか5件</li> </ul>
指名競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>鈴見新庄線植栽工事2工区</li> <li>城北市民体育館耐震補強工事</li> </ul>
随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度示野中町ほか1町地内(18-3工区)管渠築造工事(その1)ほか3件</li> </ul>
委託業務	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度西部水質管理センター3/5系水処理施設等耐震診断業務委託</li> <li>いなほ工業団地(第2工区)実施設計及び事業計画書作成等業務委託</li> </ul>
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による報告 又は意見の具申	平成17年度の発注工事に係る入札・契約手続きの運用については、概ね適正に行われていると判断する。	

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1-1-1  
金沢市総務局監理課  
電話:076-220-2101

総 括	
<p>各委員からの意見は、概ね以下の通りであった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 優良施工業者に対する指名回数の傾斜配分について、その実態を公表する事。</li> <li>2. 地元業者にも施工可能な技術の導入・普及を通じ、その育成を図る事。</li> <li>3. 引き続き、職員の技術力の向上に努める事。</li> <li>4. 個別工事の入札/契約事務の執行については、特に指摘事項はない。</li> </ol> <p>なお、意見の詳細は次のとおり。</p>	
意 見 ・ 質 問	回 答
<p>1 工事に係る入札・契約手続きの運用状況等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最低制限価格での落札についての報告に抽選で落札者を決定したものが報告されているが、抽選を行うことについて、何らかの規定があるのか。</li> <li>○ 談合情報等の場合に、上位数社で抽選を実施して落札者を決めるような形で利用できないのか。そうすれば談合に対する牽制になるのではないか。</li> <li>○ 入札参加者の事後公表はいつからか。また、公告から入札までどれくらいの期間が必要か。</li> <li>○ 予定価格が事後公表であった平成12年度に比べ、落札率は大きく下がったわけだが、今後どのように推移すると見ているか。</li> <li>○ 委託業務も含めた問題だが、履行成績が優良な者に対して指名回数増で応える手法について、メリットが具体的な形で見えると良いのではないか。また、ホームページで公表するなど、当事者以外にも見えるようにするともっと良いと考える。</li> <li>○ 公表されている成績優秀者の一覧に全国大手の社名が見あたらないが、なにか理由はあるか。</li> <li>○ 民間の技術力の活用は重要ではあるが、特殊な技術・工法になって地元業者のチャンスを奪うことになっていないか。地元業者でも施工可能な工法の導入・普及に努めるべきではないか。</li> <li>○ 検査・監督能力の確保についてはどのように考えているか。</li> <li>○ 電子入札実施案件の落札率が低いようだが、電子入札の効果と考えていいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方自治法施行令に、同額の場合にはくじを行うと規定されている。</li> <li>・ 地方自治法上、最低価格自動落札が明文規定となっているので、同額でない場合の抽選実施は難しい。</li> <li>・ 平成10年度から事後公表としている。制約付一般競争及び公募型指名競争入札は、公告から概ね1か月かかっている。</li> <li>・ 落札率はあくまでも結果を現す一側面であり、特に目標や展望を持っているわけではないが、競争性の確保については今後も留意していきたい。</li> <li>・ まずは、次回委員会に、業種・ランク毎にまとめた資料で報告する。ホームページ掲載が可能か否かは別途検討したい。発注状況・指名状況は、業者間で常に注目されている情報であり、感覚としては理解されていると認識している。</li> <li>・ 偶然に、全国大手に対する発注がなかっただけである。また、大手業者の成績が常に良いというわけでもない。</li> <li>・ ご意見の通り、新しい工法の提案を受けても競争性が問題となることがある。地元業者育成のためにも、市が前面にたった開発・普及も今後の検討課題と考えている。</li> <li>・ 職員に能力がないわけではないが、組織として強化できる点、強化すべき点はあると考えている。公共工事の発注数が多く、設計等において外部委託中心の時代があったことは確かだが、発注総数の減少もあり、内部で設計する体制に戻る方向になるだろう。自ら設計することで、審査・検査・監督の能力がより向上するものと考えている。</li> <li>・ 実施件数が20件と少なく、電子入札だからとは言いきれないと考えている。もっと事例を重ねないとわからないのではないかと。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p>○ 落札率の下落の原因について、何か考えられる点はないか。</p> <p>○ 成績評定の各項目の比重にもっと傾斜をつけても良いのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成18年1月4日施行の独占禁止法の改正で、課徴金が引き上げられた事が影響している面があると考えている。</li> <li>・ 監督員の評価項目を増やし、中間評定を二人制とするなど、客観性を高めるという考えでいる。各項目間のウェイト配分などは、今後の課題になると考えている。</li> </ul>

## 意見・質問

## 回答

2 委員が予め抽出した工事に係る業者選考等の経緯

**平成17年度七ッ屋ポンプ場沈砂池機械設備改築工事**

- 大手メーカーのみの参加だが、地元業者に参加の余地はないのか。

- ・ 特殊な機械設備の工場製作が主体となる工事で、地元業者が施工する部分がない。このような工事内容では、地元業者には参加の余地がない。

**平成17年度城北水質管理センター中央監視装置改築工事**

- 入札参加業者について予想参加可能業者一覧が作られているが、これは市が作ったものか。

- ・ 参加要件から市側が予想したものである。実際には参加は5者だったわけだが、他の業者は各社の判断として、参加しなかったという事である。

**金沢市立第2田上小学校(仮称)校舎新築工事(給排水衛生設備工事)**

- 落札業者は、自社で施工可能な業者なのか。下請はどれくらい報告されているのか。

- ・ 建設業の許可を受け、相当数の技術者を雇用している業者である。建築工事の進捗を待っている状態で、現場での工事が発生しておらず、今のところ報告された下請業者は設備工事業者1社のみである。今後現場作業の進捗に応じて下請人の報告があるものと考えている。
- ・ 経営規模等評価結果通知書による管工事の完成工事高で、通常2年平均値である。

- 参加業者一覧にある完工高の数字は、どこから来ているのか。

**野田区画整理事業野田大桑線築造工事(促一2工区)並びに大桑第三区画整理事業野田大桑線築造工事(促一5工区)ほか5件**

- 複数の工事の合冊発注で関係者が多く、現場も輻輳すると思われるが、主管課はどこになり、どのような課と打ち合わせることになるのか。

- ・ 主管課は区画整理課で、企業局建設課、維持管理課と調整しながら工事を進めている。進捗状況としては、埋設管関係の試掘を終えたところで、順調である。

- これは市の事業なのか、区画整理組合の事業なのか。

- ・ 区画整理組合の事業である。組合に補助金が交付され、組合からの技術援助の要請をうけて市が設計・積算・入札・監督を行っている。

- 減歩などで、地権者から工事に対する不満はなかったか。

- ・ 平成10年の組合設立当初に十分に話し合っており、工事が始まった後には特に問題になっていない。

**鈴見新庄線植栽工事2工区**

- 参加13社中11社が最低制限価格での応札と言うことだが、このような事態になった原因についてどう考えているか。
- 適正な施工について不安はないか。

- ・ このクラスの造園工事は業者数に比べて発注件数が少なく、各業者の受注意欲が非常に高いためと考えている。

- 第1工区、第3工区の入札もあったが、各社の指名回数はどうなっているか。また、最低制限価格で応札した業者は同じ業者なのか。

- ・ 材料搬入時にも現場で立会確認しているが、これまでのところ適正に施工されていると考えている。落札者も意欲的に施工しており、3月20日の完成に向けて、順調に進捗している。

- 下請業者の状況はどうか。

- ・ 各社2回の指名となっている。最低制限価格で応札した業者は一部重なっているが、まったく同じ顔ぶれというわけではない。

- 多くの工区に分けて発注し、発注工事数を増やす事は考えなかったか。

- ・ 本工事においては下請は入っていない。元請業者が自社施工している。

- ・ 小さく分割する理由がない。3工区に分けたこと自体が、工事数を増やすことを考慮した結果である。

意見・質問	回答
<p><b>城南市民体育館耐震補強工事</b></p> <p>○ 落札率がやや低めだが、適正な施工がなされているか。</p> <p><b>平成17年度示野中町ほか1町地内(18-3工区)</b></p> <p>○ 国道の工事請負業者に随意契約しなければならなかった理由はなにか。</p> <p>○ こういった近接工事の存在は情報交換されているのか。</p> <p><b>平成17年度西部水質管理センター3/5系水処理施設等耐震診断業務委託 いなほ工業団地(第2工区)実施設計及び事業計画書作成等業務委託</b></p> <p>○ これらの業務の予定価格は事前に公表されるのか。</p> <p>○ 二つの委託業務の落札率には大きな差があるが、その理由についてどう考えるか。</p> <p>○ いなほ工業団地の業務を、設計・測量・土質調査を一括して発注した理由はなにか。</p>	<p>・ 適正に施工されてきていると考えている。進捗状況も順調で、耐震補強工事は終了し、防水工事、内部改修が残っている状態で、予定工期内に完成できると考えている。</p> <p>・ 国道8号線の舗道内の狭い場所での工事であり、現場の輻輳を考えると、ほかの業者では不可能と判断した。また、経費削減効果も大きいと考えている。</p> <p>・ 工事担当者レベルでの情報交換はあるが、入札担当者レベルではない。</p> <p>・ 委託業務の予定価格は事前公表していない。</p> <p>・ 落札率の差については全くの偶然と考えている。この例では県外業者が参加した西部水質管理センターの業務の落札率が低かったが、市内業者が低い落札率で落札する例もある。</p> <p>・ いなほ工業団地の区画割りはオーダーメイド方式を採用し、進出企業の要望に応じて区画割りの再検討が必要になる。これに迅速に対応するため、測量・設計一括発注とした。土質調査も、道路設計に必要な簡単な調査のみであり、金額も小さいことから一括発注とした。</p>